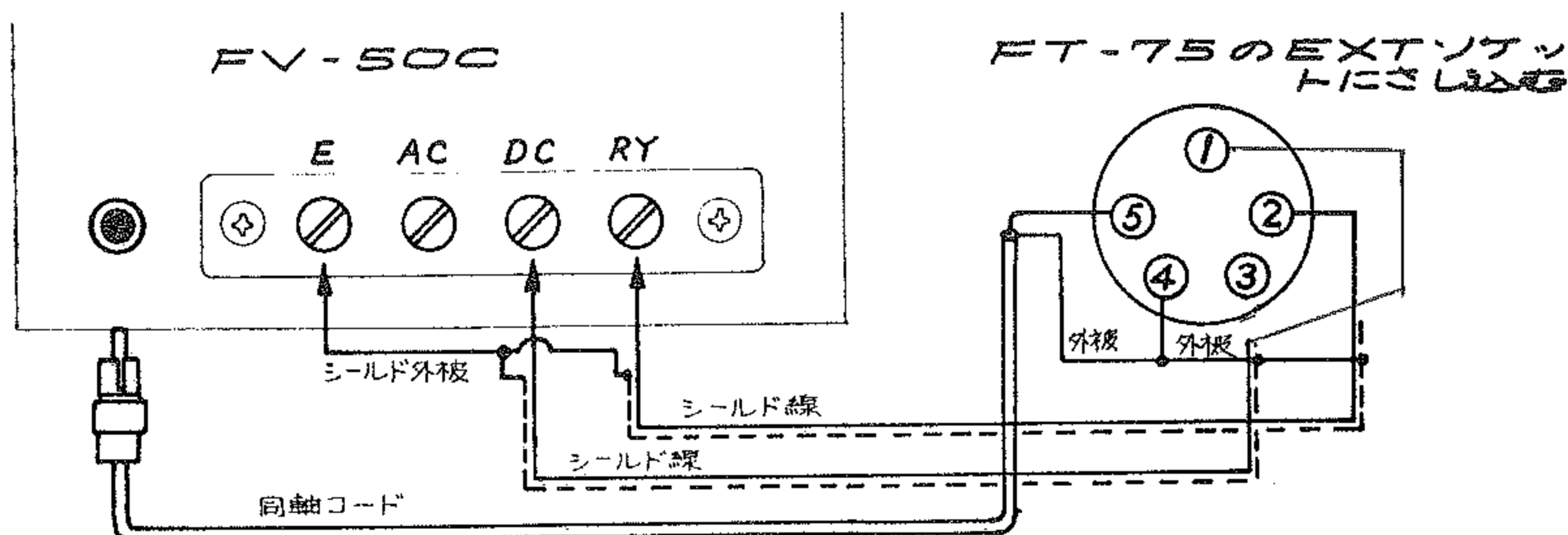


FV-50C 取扱説明書

FV-50C型外付VFOはFT-75型トランシーバーの送受信周波数を連続的に変えるための外付VFOで3.5~28MHzバンドの全域にわたって周波数を変えることができるほか、内蔵のRFA回路によって、送信周波数の上下に受信周波数のみを数kHz変えることができます。

FT-75とFV-50Cとの接続方法

FV-50CにはRCA型ピンプラグ、同軸コードおよび2本のシールド線が付属していますので、これらとFT-75に付属している5ピンプラグを使ってFV-50Cのジャックおよび端子板の端子とFT-75の背面のEXTソケットとの間を第1図のように接続してください。

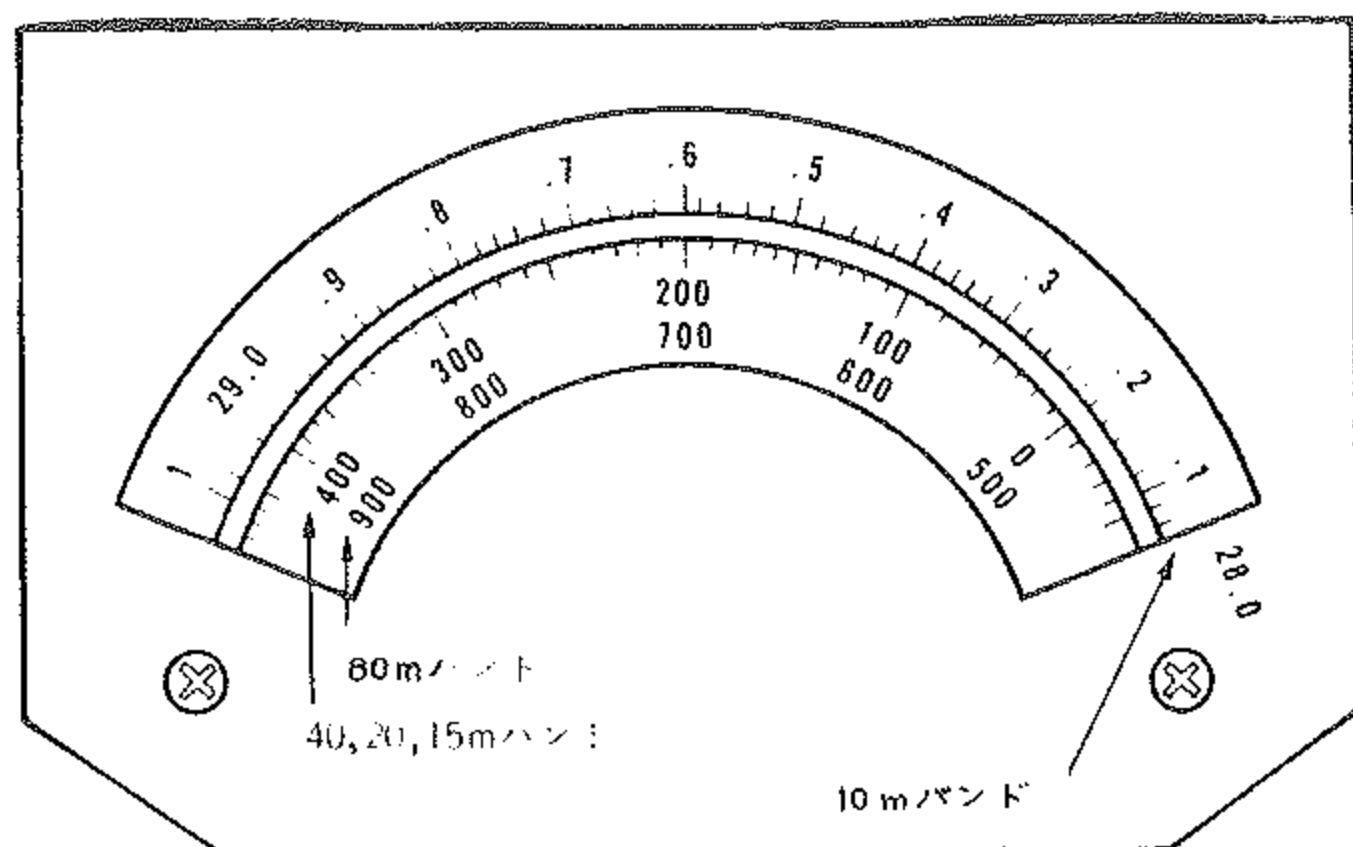


第1図 本体との接続方法

使い方

- 上記のように接続したのちFT-75とFV-50CのBANDスイッチを同じバンドに合わせます。このときFT-75は周波数表示、FV-50Cは波長表示になっていますので間違えぬようご注意ください。
- つぎにFV-50CのRFAスイッチをOFFにします。
- FT-75のチャンネルセレクターのEXTボタンを押します。
- このようにしてFT-75を操作して受信します。周波数を変えるのはFV-50Cのメインツマミをまわします。FT-75のVXOツマミは周波数と関係ありません。
- RFAスイッチがOFFのとき、RFAツマミをまわすと送受信周波数が同時に変化しますので、バンドスフレッタとして周波数の微調整に使うことができます。
- RFAスイッチをRFA側に切り換えるとRFAツマミは送信周波数とは無関係になり、受信周波数のみをRFAツマミで変えることができます。このとき、RFAツマミを0に合わせると送受信周波数が一致します。

ダイヤルの読み方



第2図 ダイヤルの読み方

1. 80m バンド
数字は下側を読みます。
目盛500は3500 kHz, 600は3600 kHzです。
2. 40, 20, 15mバンド
数字は中側です。
目盛100はバンドごとにそれぞれ, 7100, 14100, 21100 kHzを示します。
3. 10m バンド
数字は上側を表示通り読みとります。

メインダイヤルの目盛はバンドによって3通りあります。どのバンドでどの目盛を読みとるかは**第2図**を参照してください。
ダイヤルはすべてのバンドで右にまわると周波数が高くなります。
メインツマミの周囲にある50等分のサブダイヤル目盛は、1回転でほぼ50kHz(28MHz帯ではほぼ100kHz)になっていますが、メインダイヤルの目盛は完全に直線的なものではありませんので、よく使う周波数付近で合わせてお使いください。

